高谷中学校ブロック
第７回　義務教育学校の設置に関する検討委員会

令和３年１０月１６日（土）１０：００～１２：００
信篤公民館　第２会議室

第７回検討会の主な内容
　○義務教育学校の設置に関する検討の報告会について
　○小中一貫型小学校・中学校の実施について

１　委員長挨拶

２　報告
（１）報告会での質疑・応答およびアンケートについて

３　協議
（１）小中一貫型小学校・中学校の実施について

４　その他

高谷中学校ブロック　第８回義務教育学校の設置に関する検討委員会の予定
　○日時：令和３年１１月１３日（土）１４時００分から１５時３０分
　○場所：信篤公民館（予定）

高谷中学校ブロック　第９回義務教育学校の設置に関する検討委員会の予定
　○日時：令和３年１２月１１日（土）１０時００分から１１時３０分
　○場所：信篤公民館（予定）

1　報告

報告会での質疑・応答およびアンケートについて **（別冊資料）**

（1）　日時、会場、時間、参加人数

日　時	会　場	時　間	参加人数
7月２７日（火）	高谷中学校　ＰＴＡ会議室	１４時００分～１５時００分	３名
7月３０日（金）	信篤小学校　職員研修室	９時００分～１０時００分	６名
8月　2日（月）	二俣小学校　ランチルーム	１６時００分～１７時００分	３名

（2）　主な質問・確認事項等（アンケートの内容も含む）

〇小中一貫教育の制度に関する事項 ・中学校の免許状を持っている小学校の教師が教えるのか ・教科担任制では学級担任が他の学級学年で教えるのか ・授業の前倒しや入れ替えは、３校の足並みを揃えるのか ・受験や転校の際に不利益はあるのか など　計７件
○部活動、行事について ・部活動は３校合同で実施するということか ・運動会などの行事は３校合同で行うのか など計５件
○施設の整備やスケジュールについて ・一体型の義務教育学校の整備はどうなるのか ・事業期間はどのくらいを目標に完成させていくのか 計２件
○八街市の事故を受けての通学路の安全対策について 計１件
○その他要望事項等 ・子どもたちにも説明してほしい。 ・教師の負担感への配慮も。 ・プリントだけではわからなかったので説明を聞いてよくわかった。 計７件

**　報告会に参加いただいた保護者からは、小中一貫型小中学校の実施を前向きに捉えた上で、制度についての確認や、部活動など連携して行う取組みについての質問等が見られました。**

2　協議

小中一貫型小学校・中学校について

（１）高谷中学校ブロックにおける小中一貫教型小学校・中学校の実施について

①実施の理由

・信篤小学校と二俣小学校の学区が一致しており、小中一貫教育の推進が図りやすい地域である。
・二俣小学校の周辺環境が大きく変化し、将来的に、児童生徒数の減少が見込まれる。
・３校の保護者アンケートの結果、約７割の保護者が小中一貫教育の推進を肯定的に捉えている。

以上の理由から、高谷中学校ブロックで実施することが可能な小中一貫教育の方法として、小中一貫型小学校・中学校を設置するものです。

②小中一貫型小学校・中学校を設置する目的

平成２７年度から小中一貫校としてスタートした「塩浜学園」では、以下のような成果が見られています。

・教科担任制による学力の向上
・幅広い年齢での交流活動による自己肯定感の高まり
・小学校と中学校の教職員の連携による指導力の向上
・中学進学に際し、学習や生活に不適応を起こす「中一ギャップ」への対応
・問題行動の防止

これらの成果から、小中一貫教育には、児童生徒の成長や教職員の指導力の面で、高い効果があることがわかりました。

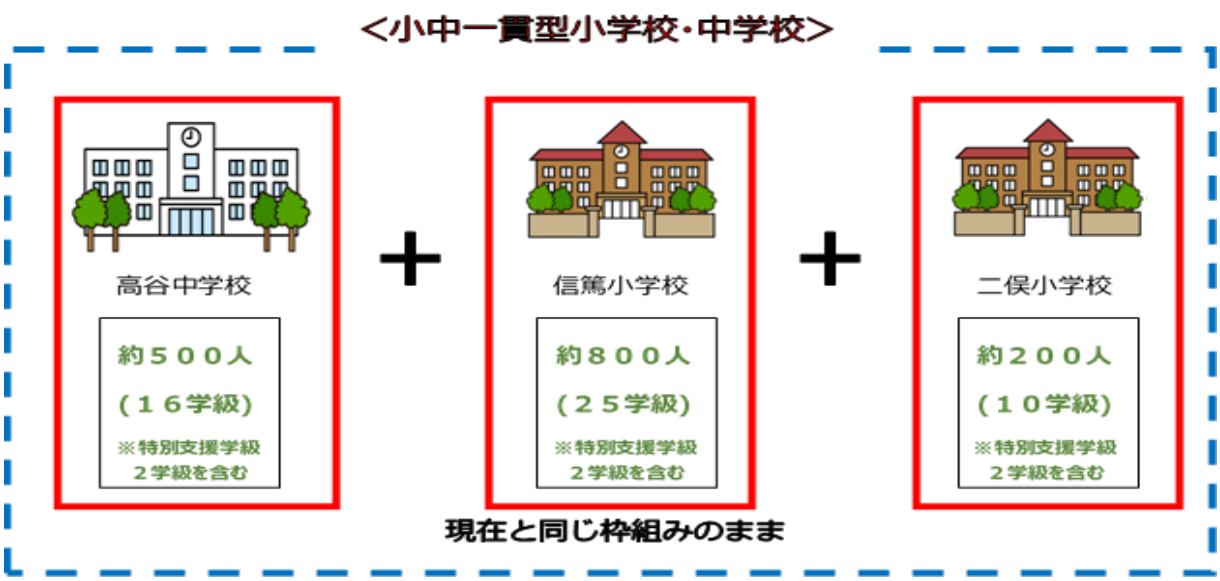
そこで、市川市では、市立の小学校、中学校の教育の質の一層の向上を図るため、令和元年に「義務教育学校の設置に関する方針」を策定しました。

方針では、

・市内の市立小学校、中学校において、条件の整ったところから比較的広い地域を基盤として義務教育学校を設置する。
・義務教育学校の設置が難しい地域においては、既存の小・中学校の枠組みを残したまま、義務教育学校に準じた形で９年間の教育を行う小中一貫型小学校・中学校（併設型小・中学校）の選択も含め、推進体制を整える。

としており、**この方針に沿って、高谷中ブロックに「小中一貫型小学校・中学校」を設置していきます。**

③小中一貫型小学校・中学校の教育効果



【小中一貫型小学校・中学校の特徴】

＜新たに実施できる取り組みについての特徴＞

〇義務教育学校と同様に、教育課程の特例を設置者の判断で創設できるため、４年―３年―２年、５年―４年など、学年段階の区切りを柔軟に設定することが可能になる。

〇「新しい教科の創設」、「小・中学校の指導内容の前倒しや入れ替え」、「小学校段階からの教科担任制の実施」等も可能となることなど、義務教育学校で実施できる「特例制度」を利用することができる。

〇教職員を併任（※）させることもできるため、小学校と中学校の連携の推進だけでなく、小学校同士の連携も推進される。

＜現在と環境が変わらないことに伴う特徴＞

〇小学６年生のリーダーとしての活躍を、そのまま活かすことができること。

〇今までと同様、各学校に一人の校長、一つの教職員組織は変わらず学校運営ができること。

〇学校の正式名称も今と変わらない。

※併任…所属している学校の職員としてだけでなく、他の学校の職員としても任用すること。

（２）今後の実施スケジュールと通称名について

令和４年４月からの小中一貫型小学校・中学校の設置を目指し、今年度中に「高谷中学校ブロック小中一貫型小学校・中学校に関する基本計画」を策定します。

この基本計画の中では、３校で一つの「教育目標」や、「めざす学園像」、「めざす児童生徒像」、「めざす教師像」、及び通称名(※)など必要な事項を定めます。

また、具体的な３校での取り組みについては、３校の校長、教頭、教務主任を含む教職員の代表からなる「プロジェクト会議（仮）」を設置し、実施できる内容について話し合い、順次実施していきます。

※市川市の小中一貫型小中学校では、学校間の一体感を高めるため、通称名をつけています。

高谷中学校ブロック「小中一貫型小学校・中学校」の実施スケジュールについて

高谷中学校ブロックでの「小中一貫型小学校・中学校」の実施に向けたスケジュールは、以下の通りとなります。

令和３年度

第７回検討委員会（今回）
＜協議＞
小中一貫型小・中学校について
◎基本計画
◎通称名※

第８回検討委員会（１１月中旬）
＜協議＞
基本計画（案）について
・学園教育目標
・通称名の選定
・計画の構成　等

第９回検討委員会（１２月上旬）
＜協議＞
基本計画（案）について
▼
基本計画案の策定

※通称名については別紙資料２にて説明

●教育委員会
・基本計画の素案作成

＋

● ３校長による検討会
・学園教育目標
・目指す学園像、教職員像、児童生徒像

●教育委員会
・学校環境調整課
・関係課

＋

●プロジェクト会議
・３校の校長、教頭、教務主任を含む教職員の代表からなる「プロジェクト会議」を立ち上げ、実施する内容について話し合い、可能なことから順次実施していきます。
・取り組みの例…新しい教科の設定、乗り換え授業、小学校高学年からの部活動の参加　等

１月
基本計画の決定
（定例教育委員会 審議・議決）

第１０回検討委員会（２月から３月）
基本計画に基づく準備
・学校管理規則の改定
・Ｒ４から話し合う組織や話合う内容の検討　等

令和４年度

4月
小中一貫型小学校・中学校スタート

●令和４年度以降の検討委員会について

検討委員会では、進捗状況等の報告を、学期に１回程度実施していく予定です。

高谷中学校ブロック「小中一貫型小学校・中学校」の通称名について

＜通称名をつけることについて＞

○小中一貫型小学校・中学校を実施するにあたり、高谷中学校ブロックの児童生徒や教職員、保護者が一体感を持ち、一貫教育がより推進されるよう、**通称名**を検討していきます。
○どのような通称名にするのかを決める際には、**児童生徒たちの思いを反映させながら**、検討委員会にて協議しながら進めていきます。
○なお、高谷中学校、信篤小学校、二俣小学校の校名は、**各学校の正式名称として、今後も使用**していくこととなります。

＜通称名の決定方法とスケジュール案について＞

第７回検討委員会
今回

＜協議＞
小中一貫型小学校・中学校について

▼

通称名の決定方法について

▼

児童生徒、地域、保護者から公募する

第８回検討委員会
１１月上旬

＜協議＞
通称名の案について

▼

５つ（±α）に絞る

▼

候補になった通称名について、各学校の児童生徒による投票を実施する

第９回検討委員会
１２月上旬

＜協議＞
通称名の投票結果

▼

通称名を１つに絞る※

▼

基本計画（案）に反映

１月上旬

＜定例教育委員会＞
基本計画の審議

▼

議　決

▼

通称名決定

令和４年度から通称名使用開始

※通称名を１つに絞る際には、
①**地域がわかるもの**（地名、地域の歴史的背景・由来、自然環境など）
②**学校づくりへの想い**（未来、絆　など）
を入れていきたいと考えています。

（３）東国分爽風学園の取り組みについて

今年度より、小中一貫型小学校・中学校としてスタートした、東国分中学校ブロック（東国分中学校、曽谷小学校、稲越小学校）では、通称名を「東国分爽風学園」としました。

この通称名は、児童生徒、保護者、地域から幅広く公募し、その中から児童生徒の投票によって選ばれた「爽風」と、地域を表す言葉の「東国分」を合わせてつけられた名前です。「爽風」は、小学６年生が考えたもので、「３校に爽やかな風が吹き抜けるように」という願いを込めています。

また現在、東国分爽風学園では、今年の４月より、３校の校長、教頭、教職員の代表からなる「プロジェクト会議」を立ち上げ、３校で順次実施できることの検討を続けています。

現在までに話し合われた内容や、実際に３校で取り組んだこと、今後取り組もうとしていることは、以下の通りです。

＜今年度実施したこと＞

・３校での「オンライン集会」の実施
　夏休みの生活について、３校の生徒指導の先生からの話を、オンライン会議システム「Ｚｏｏｍ」を使って実施。
・３校での「オンライン研修会」の実施
　曽谷小学校の図書室から、教師の学校図書館活用の研修を、「Ｚｏｏｍ」を使って実施。
・３校の「グランドデザイン」について
　学園目標、めざす学園像、子ども像、教職像から、３校でめざす方向性を示した「グランドデザイン」を作成しました。

＜現在検討していること＞

・新しい教科の設置について
　令和４年度から新しい教科が実施できるよう、３校の教務主任の先生方を中心に検討をしています。
・３校で実施できる内容について
　①小学校と小学校との交流について　　②小学校と中学校の交流について
　③小学校と中学校との授業での連携について　　④教職員の役割の連携について
　⑤中学校の部活動への小学生の参加について

＜今後予定している取組み（10 月下旬頃から順次実施）＞

・中学校の教員による、小学校への乗り入れ授業の実施
　中学校の数学科の教員による、小学校の算数の授業の実施。

以上、これまでのことを踏まえ、今後は、以下の内容について協議をしていきたいと考えています。

「高谷中学校ブロック小中一貫型小学校・中学校に関する基本計画」の内容について
→３校共通の教育目標（学園目標）や、３校をまとめて呼ぶ際の**「通称名の候補」等**

（４）小中一貫型小学校・中学校に関する基本計画について

基本計画では、以下の項目等についてとりまとめ、この計画に沿って小中一貫教育を進めていきます。（**「東国分中学校ブロック小中一貫型小学校・中学校に関する基本計画」参照**）

●市川市における小中一貫教育について
- 本市の基本的な考え方

●高谷中学校ブロック小中一貫型小学校・中学校について
- 対象校、実施形態
- 通称名
- 高谷中学校ブロックで実施する目的
- 高谷中学校ブロック小中一貫型小学校・中学校の目指す方向
  ３校共通の教育目標（学園目標）、めざす姿（学校、児童生徒、教職員）
- 実施する教育課程
- 教育課程
- 期待される教育効果

●教育委員会の取り組み
- ３校で実施する際の運営支援
- 検討体制
- 今後のスケジュール
- 計画の位置づけ

＜今までの検討委員会での意見や、保護者への報告等で出された意見より＞
- 教育の幅が広がるような取り組みをして欲しい。
- 小中一貫教育によって学力の向上を図って欲しい。
- 子供たちの自己肯定感や自己成長意欲を高められる教育が求められる。
- 課題を解決する力が高まるような教育が必要である。
- 小学校高学年から部活動に参加できるようにし、部活動の活性化を図って欲しい。　等

本日は、基本計画策定にあたり、以下のことについてご意見をいただきたいと思います。

- 「高谷中学校ブロックの３校で目指す姿（学園目標や、めざす学校、児童生徒像、教職員像）」に関するイメージやその他意見等について
- 「通称名」の決定方法やその他意見等について